

2024年4月2日
一般財団法人 地域・教育魅力化プラットフォーム
代表理事 岩本 悠

新監事就任のお知らせ

一般財団法人地域・教育魅力化プラットフォーム(本社:島根県松江市、代表理事:岩本悠、以下CPF)は、2024年4月開催の評議員会を経て、公認会計士・税理士の古里圭史(ふるさとけいし)氏を監事として迎えることを決定いたしました。

古里氏は、監査・会計業務だけでなく、地域金融の様々な手法を活用した地域活性化の立案実践などの豊富な知見経験を活かし、CPFの財産状況及び理事の業務執行の状況を監査してまいります。

CPFは引き続き、地域みらい留学の推進を通して、魅力ある教育環境の実現と意志ある若者の育成に取り組めます。よろしくお願いいたします。

2024年4月からの役員体制は下記のとおりです。

理事・会長	水谷智之
代表理事	岩本悠
専務理事	尾田洋平
理事	今村久美
理事	高槻大輔
監事	古里圭史



古里 圭史(ふるさと けいし)氏

1979年生まれ。岐阜県飛騨市(古川町)出身。公認会計士・税理士。

早稲田大学卒業後、株式会社スクウェア・エニックスを経てデロイトトーマツグループの監査法人に入所。2012年10月に地元、岐阜県飛騨・高山にUターンし、地域密着のコミュニティバンクである飛騨信用組合に入組。同組合において「育てる金融構想」を掲げ、クラウドファンディングや地域キャピタル会社の設立など、新しい金融手法を活用した資金供給の仕組み構築に注力。2017年には電子地域通貨「さるぼぼコイン」を手掛け、ローンチから4年でユーザー数、加盟店数ともに地域シェア40%超のサービスに。

現在は自身の会社及びアカウンティングファームの運営を行いながら、慶応義塾大学大学院政策・メディア研究科特任准教授を務める。